

平成 25 年第 6 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 25 年 6 月 25 日（火） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 16 時 20 分
3. 開催場所 加西市立総合教育センター 会議室 1
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳
5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 後 藤 倫 明
市参事兼こども未来課長 立 花 聡
教育総務課長 中 倉 建 男
学校教育課長 小 林 剛
文化スポーツ課長 深 江 克 尚
総合教育センター所長 柿 本 博 司
図書館長 柴 田 健 壺
こども未来課主幹 伊 藤 勝
教育総務課課長補佐 高 井 聡 子
6. 付議事項
議案第 2 5 号 平成 2 4 年度加西市教育委員会点検評価について
議案第 2 6 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について
議案第 2 7 号 加西市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について
議案第 2 8 号 加西市社会教育委員の委嘱について
7. 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
8. 質問及び討議の内容
議案第 2 5 号 平成 2 4 年度加西市教育委員会点検評価について
議案第 2 5 号 平成 2 4 年度加西市教育委員会点検評価について、教育総務課長より、評価

委員会における審議を行うため、教育委員会による評価を別紙のとおりとすることにつき、委員会の議決を求めるものであることを説明する。また、6月14日の会議で指摘があった部分について文言の修正、加筆、具体的な数字の記入、及び実績及び課題についてより詳しい表現に修正した内容の説明を行った。

教育委員より、評価委員会にあげた後、結果を報告する予定かとの質問があり、教育総務課長より、7月に評価委員会を開催して評価委員の評価をもらい、9月に議会に報告をする」と説明する。

教育委員より、重点目標1実践目標1取組2の課題について、特別支援児への加配職員の文章において、「関わりを」を「関わりに対して」に訂正することが適切であると指摘があり、文言を訂正する。

教育委員より、重点目標2実践目標4取組2の課題について、「出前講座等の一層の充実を図るため、学校教育との連携をより推進してゆく必要がある」に訂正する意見があり、一部文言を修正する。

以上、一部文言修正をもって承認される。

議案第26号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

議案第26号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について、学校教育課長より、加西市心身障害児就学指導委員会規則第2条の規定により、12名を委嘱するもので、任期は平成25年7月1日から平成26年3月31日までであると説明する。内訳は、1号委員として、加西特別支援学校医、加西病院精神科副部長を、2号委員として、中学校長代表、北条・善防・加西・泉中学校区就学指導委員代表の4名と加西特別支援学校長及び教頭を、3号委員として、中央こども家庭センター育成支援課員を、4号委員として、こども未来課長と学校教育課長をそれぞれ委嘱することを説明する。10月には加西市心身障害児就学指導委員会を開催し、その後入学までの半年間相談にあたっていただくと述べる。

教育委員より、10月の委員会ののち半年間見守るとのことであるが、半年の間に状況が変わる場合は3月に委員会を開くということかとの質問があり、学校教育課長より、臨時で行うと説明する。

教育委員より、2号委員で特別支援学校の校長、教頭の2名が委員となっているが、どちらか一方で良いということはないかと質問があり、学校教育課長より、必要性があるためであり、普通学校から特別支援学校へ進学する子どもも多くなっており、校長教頭は特別支援教育について精通しており、助言を含め必要な委員であると説明する。

教育委員より、中央こども家庭センターとは県の施設かとの質問があり、学校教育課長より、県立の施設で、障害者手帳の交付等、市の地域福祉課と連携しながらお世話になっていると説明する。

以上をもって、原案のとおり承認される。

議案第27号 加西市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について

議案第27号 加西市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について、文化スポーツ課長より、加西市スポーツ推進計画策定委員会設置要綱第3条及び第4条の規定により、加西市スポーツ推進計画策定委員会委員を委嘱するものであると説明する。本来昨年12月に教育委員会の議決をいただいていたべきであったが、設置要綱にもとづく委員の委嘱ということであげていなかったもので、追認となるが、11名について平成24年12月1日から平成26年3月31日までを任期として承認をいただきたいこと、また、うち1名のスポーツクラブ21加西連絡協議会会長が交替されたことにより平成25年4月1日からの残任期間について後任者に委嘱するというものであると説明する。さらに、平成25年度の第1回策定委員会は昨日開催し、今年度中の計画策定にすすんでいる状況であると述べる。

教育委員より、昨日1回目の会議が実施されたとのことであるが、今後の予定はどうかとの質問があり、文化スポーツ課長より、あと5回程度の会議を予定しており、今年度中に計画を策定したいと説明する。

教育委員より、平成26年3月31日までの任期であるが、その後はどうするのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、平成25年度中に推進計画の策定は終える予定で、任期は25年度末までを予定しているが、その後については再評価や見直しに向けて新たな委員の任命が必要になってくると考えていると説明する。

以上をもって原案どおり承認される。

議案第28号 加西市社会教育委員の委嘱について

議案第28号 加西市社会教育委員の委嘱について、文化スポーツ課長より、加西市社会教育委員の任期満了に伴い、加西市社会教育委員に関する条例第2条及び第3条の規定により、平成25年7月22日から平成27年7月21日までを任期として加西市社会教育委員に9名を委嘱するものであると説明する。新任1名以外の8名が再任用であると述べる。

教育委員より、社会教育委員の活動内容について質問があり、文化スポーツ課長より、教育委員会から依頼された案件や、随時の社会教育関係で問題になっている案件について審議いただいていると回答する。

教育委員より、新任の方について紹介してほしいと意見があり、文化スポーツ課長より、国際交流活動を行っているNPOのMORE地球家族の代表者で、外国人向けの日本語教室や、スピーチコンテストなどの交流イベントを実施されており、本人は公民館で子供向けの英会話講座や、北条鉄道長駅の駅長もされていると紹介する。

教育委員より、社会教育委員と教育委員との交流はあるのかとの質問があり、文化スポーツ課長より、意見交換会はないので、希望があればテーマや時期を決めての調整はできると

回答する。

以上をもって原案どおり承認される。

9. 議決事項

議案第25号 平成24年度加西市教育委員会点検評価について

一部修正のうえ可決

議案第26号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第27号 加西市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第28号 加西市社会教育委員の委嘱について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長から

教育長より、昨日終了した平成25年6月加西市定例議会の主な案件について報告をする。

まず、議案として提出した加西市子ども・子育て会議条例の制定については、総務委員会に付託となり本会議で可決されたと説明する。

次に、教育委員会関係として、教育委員会の主要施策と教育委員会評価について、小学校の環境保全の地域との連携について、人権教育について、教育長の進退について、泉中学校耐震工事及びトライやる・ウィーク等の教育問題について、泉第三保育所を含む保育の統合計画について、幼保を含めた耐震計画とその進捗状況等、通学路の安全確保について、中学校給食の受け入れ態勢についてといった9件の質問があり、また、今回は教育委員長への出席要請があり、答弁をお願いしたと報告する。

(2) 市参事兼子ども未来課長の報告

市参事兼こども未来課長より、加西市子ども・子育て会議条例の制定について、議会からの質問として、会の役割や、委員の選任について、また、年間何回位開催するのかといった質問や意見があったことを報告する。

次に、加西市私立幼稚園就園奨励費補助金交付基準の一部を改正する教育長訓令の制定について、私立幼稚園の保護者の負担軽減を図るため、幼稚園の入園料と保育料の一部を助成するものであると報告する。今回変更になった点は、第4条中「満年齢4歳及び5歳」を「満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児」に改めており、学校教育法に基づいたところの3歳児という年齢に改め、3歳児からの幼児期の学校教育を今後すすめていきたいこと、第6条では、個人情報の閲覧を承認いただいた方にはオンラインでチェックすることで申請者の負担軽減と利便性を高めるもので、別表については、国基準に応じて変更しており、子どもの人数によって補助金の額を定めていると説明する。

続いて、泉第三保育所災害避難マニュアルについて、6月20日に泉第三保育所で開催した保護者への説明会において、当該地の状況や避難経路、連絡網の再確認として配布した資料であり、子ども達の安全の確保を第一目的とし、保育中に警報が発令した場合は泉第一保育所に避難することと、間に合えば家庭内保育をお願いするという内容のものであると報告する。

最後に、平成26年度西在田幼稚園開園に向けた課題について、平成16年度制定の加西市立幼稚園の休園等に関する規程に基づき休園を決定するところであるが、西在田幼稚園児は現在13名、小学校へ通う予定者が16名で、全体の81.2%で現在は開園となっており、平成26年度は小学校へ通う予定者が17名程度で、泉第三保育所に12名、泉第一保育所に2名おり、西在田幼稚園に入園予定として14名で82.3%になり来年度も開園となるが、平成27年度は小学校対象児童が5名となり、10人以上で80%を上回るという規程を満たせず、また、1年の猶予期間を設ける数値もクリアできないため、西在田幼稚園は休園せざるをえないと報告する。この件に関しては、泉第三保育所の保護者には説明しているが、今後、泉中学校区において、幼保の統合計画を委員会を設けて地域の方と協議を進める必要があり、今年度から幼保一体化の協議を進めていきたいと説明する。さらに、確認として、西在田幼稚園は26年度に応募者が12人以上あれば1年の猶予期間となるが、27年度は、今の状況では5人程度のため、休園となると述べる。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等の進捗状況について、宇仁小学校地震改築工事は屋根の配筋工事中、屋外環境整備工事はグラウンド工事中、北条学校給食センター建設工事は基礎工事中、泉中・善防中学校校舎耐震補強工事は現場調査中であり、宇仁小学校プール浄化装置改修工事、宇仁・九会小学校プール塗装工事は完了し、さらに、宇仁小学校太陽光

発電設備工事は現場と調整中で、富田小学校地震改築工事は、基本設計が完了しており6月29日にPTAと地元へ説明会を行う計画であると報告する。次に、九会・富合小学校校舎耐震化工事、善防中学校体育館耐震補強工事設計委託は、現地調査中であり、北条学童保育専用棟建築工事設計委託は基本設計中、教育施設環境整備工事設計委託は2本に分け、トイレ改修・空調・太陽光発電設備の現地調査中であると報告する。

続いて、平成25年度格差是正営繕工事及び備品購入計画について、2日に分けて施設を確認していただいた内容をまとめており、○は修繕予定、☆は兵庫土建にボランティアで依頼する内容であると報告する。また、各幼稚園及び幼児園については修繕内容と備品購入について、各小・中・特別支援学校については修繕について説明する。さらに、修理内容によっては耐震化工事に合わせて施工すると説明する。

次に、情報公開について、1件の情報公開請求があり、情報不存在のため情報非公開決定を行なったことを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学習・生活について、小学校3年生、4年生が25年4月に改訂した社会科の副読本を使用しているが、その中に播磨風土記1,300年にちなんだ資料を掲載していること、小学校3年生が社会科体験学習として加西市内一周めぐりをし、観光ボランティアの協力で、播磨の国風土記ゆかりの地や鶉野飛行場跡、防空壕跡等をめぐったことを報告する。また、プール開きがあり、プール指導も始まっているが、紫外線問題もあり、保護者と話し合いながら対応していると説明する。

次に、夏季休業中の留意点について、7月19日に終業式、9月2日が始業式で、その間夏季休業となり、地区水泳やラジオ体操、部活動等夏季休業中にしかできない活動について指導していると報告する。また、平成21年度に兵庫県抽出で勤務時間の実態調査があり小学校2校中学校1校が実施され、平成24年度に再度同じ学校で実態調査があり、先日結果がでたが、24年度の1日の勤務時間の平均が10時間54分であったため、夏季休業中にできるだけ教職員にリフレッシュしてもらい、夏季休暇や連続した年休の取得を推進したいと述べる。なお、今年4月から県の施策で、各校で定時退勤日を設定するよう促しているため、保護者にも周知したいと述べる。さらに、子ども達には各校で登校日を2回程度設定して、夏季休業中の生活の確認や作品の回収を行っている」と説明する。

(5) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、ひとはくキャラバン in 加西（夏休み環境学習）の開催について、県立人と自然の博物館から講師を派遣いただき、善防公民館とオークタウンを中心に環境学習講座を行うもので、西在田小学校、北条高校、播磨農高の生徒にも協力をいただきながら

観察やものづくりを通して加西市の豊かな自然を体験してもらおうというイベントであると報告する。

(6) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、6月17日に実施した総合教育センター運営委員会について報告をする。報告事項として、総合教育センターの事業内容や、加西市の教育の重点との関連性を考えた事業展開、教育推進係や育成支援係の事業内容について説明をし、質問及び討議の内容として、スマートフォン等で発生する問題や多様な考え方を持つ保護者への対応、情報発信の重要性、保護者への支援方法として教育相談の充実や学校や教職員への支援等について議論したことを報告する。

次に、平成25年度問題行動の現状と課題について報告をする。問題行動の件数として、中学校では平成25年5月末が24件で昨年同月比△22件とほぼ半減しており、小学校では平成25年5月末が3件で昨年同月比△1件となり、現在落ち着いた状況で生活できていると説明する。課題として、インターネットの被害の防止と家庭の養育力の不足といった問題があり、今後の取組として、関係機関や専門機関との連携を推進しながら早期に対応していきたいと述べる。

続いて、加西市青少年補導委員連絡協議会の女性協力員がイオン加西北条店のゲームコーナー等を巡回され、女性の立場から青少年の非行防止、健全育成活動に協力いただいていることを報告する。

(7) 図書館長の報告

図書館長より、図書館情報誌である図書館だより「ありこまち」他の発行について報告する。夏のキッズイベント情報を掲載しており、8月3日には夏休みお楽しみキッズシアターを、7月28日には牛乳パックでおもちゃをつくろう、8月2日と3日に図書館を探検しようというイベントを開催すると説明する。

11. 協議事項

報告事項の中から

○加西市私立幼稚園就園奨励費補助金交付基準の一部を改正する教育長訓令の制定について

教育委員より、補助対象経費の表現で、「満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の園児の保護者」とあるが、満3歳児、3歳児とある理由は何かとの質問があり、市参事兼こども未来

課長より、3歳児は平成21年4月2日から平成22年4月1日生まれまでの子どもで、満3歳児は2歳の途中で満3歳に入る方がいるということで区分していると説明する。

○総合教育センター運営委員会について

教育委員より、総合教育センター運営委員会会議録に県の学校支援チームの動きについて疑問を感じるとあるが、具体的にどうということかとの質問があり、総合教育センター所長より、先日、学校OB、警察OB、スクールソーシャルワーカーの3者が県の学校支援チームとして4中学校を回られたが、言われることは加西市ではすでに実施していることだったので、すべての学校を訪問される必要性について疑問を感じられたということだった。しかし、総合教育センターより各学校の現状を確認する目的もあつての訪問であると補足したと回答する。

○市内小中学校の問題行動の現状と課題について

教育委員より、市内小中学校の問題行動の現状と課題の統計で、問題行動の総計が半減しているが、一番の要因は何かとの質問があり、総合教育センター所長より、卒業生との関係の中で高校生の暴走族3グループが逮捕されたことで、関係性が改善されてグループ化が抑えられていることが大きな要因と考えられると説明する。教育委員より、子どもたちがコンビニで集まっていることがあるとの意見があり、総合教育センター所長より、子ども達が家庭に居場所がなく、同じ境遇の子が集まっていると考えられ、早い段階で家庭や子どもを支援する体制を整える取組が必要であると述べる。

○泉第三保育所災害避難マニュアルについて

教育委員より、泉第三保育所災害避難マニュアルで、「全ての在園児をバス輸送等により泉第一保育所へ移送する」とあるが、臨時でバスを出すということかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、最寄りのバス会社と協定を結んでおり、災害時は優先的に迎えに来てもらう手配をしていると説明する。

○平成25年度格差是正営繕工事及び備品購入計画について

教育委員より、格差是正営繕工事で、調理場の関連するところ、食に関係する部分は配慮してほしいとの意見があり、教育総務課長より、12月の新学校給食センターの完成に伴い、富田小はじめ5校の調理場を閉め、残る北条小、北条東小、泉小に使えるものは移動させる計画であり、その時期まで待てない部分是对応する予定であると回答する。

12. 教育委員の提案

教育委員より、保育園と幼稚園のエアコン設置について、暑さ寒さに慣れることも大事だ

が限度を超えることもあるため、各園に何か所かの設置を検討してほしいと要望がある

教育委員より、英語に関して、全体として指導者が交替の時期であり難しい問題があつて苦勞されているところですが、話す英語、聞く英語、書く英語、読む英語という4領域の言語活動をバランスよく教えることとなっており、話す楽しみができる雰囲気づくりの授業展開をすすめる必要があると述べ、工夫をして考えていただきたいと要望がある。数年のうちに計画的に工夫して英語教育を伸ばし、英語を話すのが楽しい雰囲気でもバランスよくいくように施策を考えていただきたいと述べる。

教育委員より、教育委員会の進行方法について、各課長の報告事項毎に教育委員の意見を述べてはどうかとの意見があり、教育総務課長より、次回教育委員会から各課報告事項毎に教育委員の意見を受け、最後にまとめて再度お聞きするという方法にすると回答する。

教育委員より、一般の方は教育委員の仕事の内容を理解されていないと感じるので、実態を知っていただくためにも教育ねつとに活動内容を掲載してほしいとの意見があり、教育総務課長より、掲載について検討すると回答する。

教育委員より、トライやる・ウィークについて、今回初めて受入れをしたが、生徒達はたいへんよく活躍してくれて受け入れて良かったと思った反面、担当の先生の負担が大きいようでもかなり疲れていると感じられ、もう少しサポートをした方が良いのではないかと述べる。また、この体験が将来の職業観にもつながると思うが、区分けが大まかで選択が難しいと思うので、先生方はいろいろな会社に行つて業務内容を知っておく必要があるのではないかと述べる。さらに、アンケートで、トライやる・ウィークを経験して指導ボランティアになったものが2名おり、現在の仕事に対する反省等良い影響を受けたと書いていたことを報告し、来年も受け入れたいと述べる。学校教育課長より、子ども達には非日常的なすばらしい体験で忘れることはないが、担当教諭は、1年生と3年生の授業を持っている中で事業所を回っていることがあり、難しい課題であると説明する。

教育委員より、先日女性教育委員の会総会に参加したが、OB先生による学び塾や、小中高大学生によるクリーン作戦、寺子屋等の実施などに取り組みされており、また、女性教育委員による他市教育委員会の傍聴をしたいという意見があつたと報告する。

教育委員より、講師に來られている方から、加西市は携帯電話やパソコンの研修について、的を射た指導をタイムリーにしていると言われたと報告する。

13. 今後の予定について

- ・ 第 7 回定例教育委員会 7 月 24 日（水） 13:30～ 総合教育センター
- ・ 第 8 回定例教育委員会 8 月 23 日（金） 13:30～ コミセン 2 階視聴覚室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 25 年 6 月 25 日

出席委員

(出席委員署名)